

公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団 中期経営計画 2019～2022 [概要版]

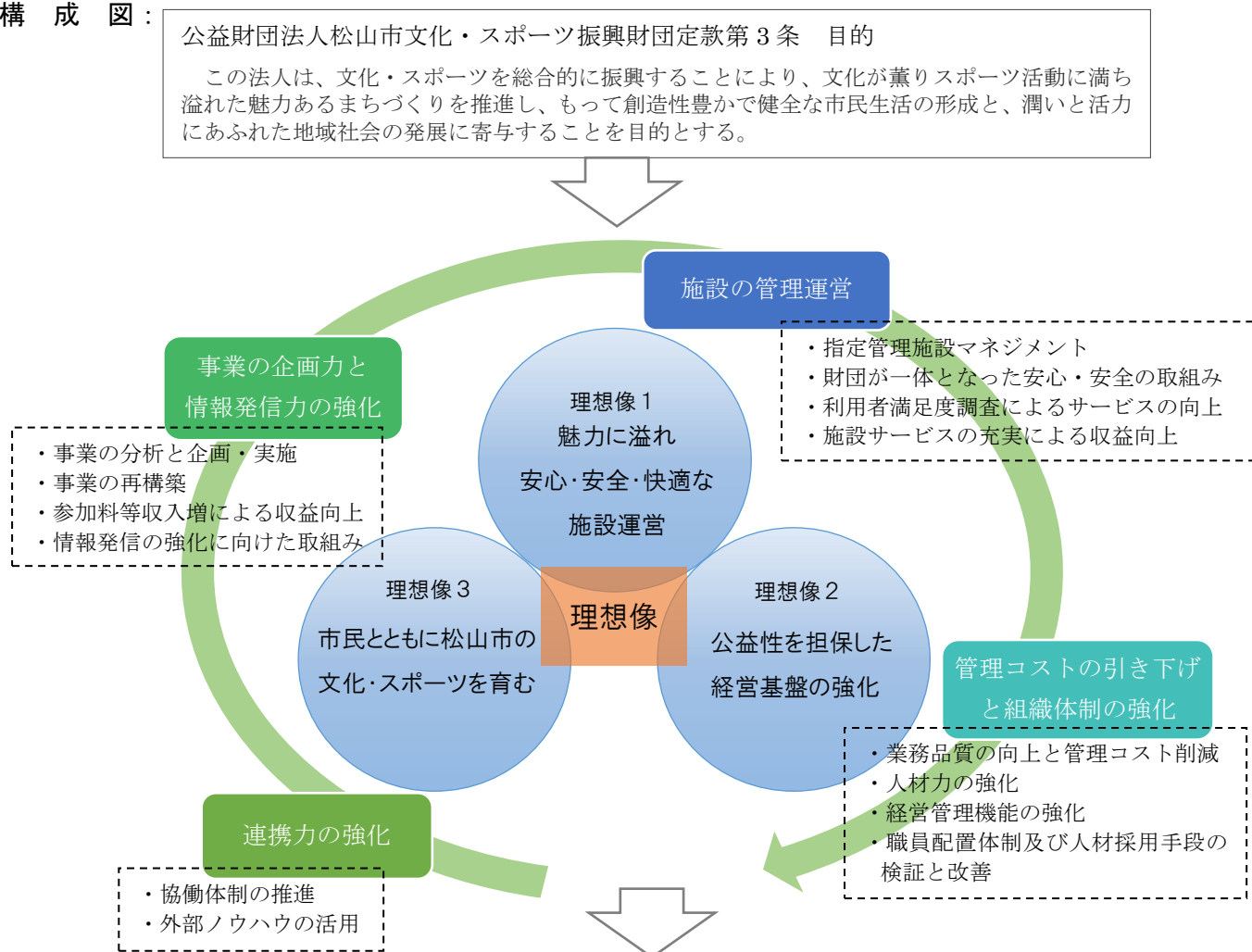
策定の趣旨： 当財団は、平成 18 年からの指定管理者制度の導入、平成 22 年の合併、平成 24 年の公益財団法人への移行など、これまで変革期の中を歩んできました。絶えず変化する環境のなかで財団のあるべき姿（理想像）を追い求めて、そこを目指して進んでいくため平成 27 年度に第 1 期中期経営計画を定めました。この 4 年間で、施設管理コストの削減や施設の老朽化対応、利用者サービスの向上、各公益目的事業の拡大に取り組んだ結果、着実に成果を上げてきました。

今後、職員の大量退職期を迎えるにあたり長年蓄積してきたノウハウの消失が危惧される中、これまで以上に質の高いサービスを提供して、市民から必要とされる財団であり続けなければなりません。そこで、2022 年度を目標年次に当財団が取り組むべき課題と方向性を『中期経営計画 2019～2022』として策定するものです。

計画の期間： 2019 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日（4 年間）

構成： 重点施策ごとに数値目標を掲げ、現状と課題を分析し、目標の達成に向けた具体的な取り組み内容を掲げる。

構成図：



重点施策
理想像を達成するための取り組み

理想像を達成するための取組内容：具体的な取組内容に対し、39の数値目標を掲げ実現を目指す。

取組内容	
重点施策1 施設の運営管理 (12項目)	
1-1 指定管理施設マネジメント	・施設内外の定期点検回数 ・有資格者・長期経験者による施設の修繕件数
1-2 財団が一体となった安心安全の取組み	・情報セキュリティ現地状況調査の実施 ・救急救命上級講習受講者数/防災士数
1-3 利用者満足度調査によるサービスの向上	・利用者満足度アンケートの実施 ・アンケートから抽出された課題への取組み
1-4 施設サービスの充実による収益向上	・施設使用料収入 ・施設稼働率 ・施設コンシェルジュサービス ・施設の改善提案 ・営業努力による施設利用の稼働率
重点施策2 管理コストの引き下げと組織体制の強化 (12項目)	
2-1 業務品質の向上と管理コスト削減	・人件費の抑制 ・業務の標準化と効率化を図るための研修会と講習会 ・シュレッダー紙の排出量 ・ペーパーレス化 ・コストパフォーマンス
2-2 人材力の強化	・職階別研修の実施回数 ・受付対応研修の実施回数 ・職員が新たに取得した資格数
2-3 経営管理機能の強化	・助成事業の確保 ・経営管理機能強化の取組み
2-4 職員配置体制及び人材採用手段の検証と改善	・就職説明会(企業・大学主催)への参加回数 ・インターンシップ学生の人数
重点施策3 事業の企画力と情報発信力の強化 (12項目)	
3-1 事業の分析と企画・実施	・アンケートの対象人数と回収率 ・アンケート結果を反映、改善した事業数 ・小学生向け夏季・冬季集中型教室(文化)、(スポーツ)
3-2 事業の再構築	・松山市文化芸術振興計画に則した事業の代謝促進 ・松山市スポーツ推進計画に則した事業の代謝促進
3-3 参加料等収入増による収益向上	・参加料収入(自主事業) ・事業経費(文化)、(スポーツ)
3-4 情報発信の強化に向けた取組み	・インターネットによる情報発信 ・ホームページアクセス数 ・教室パンフレットの配布数
重点施策4 連携力の強化 (3項目)	
4-1 協働体制の推進	・連携・協働事業数 ・連携・協働事業参加人数 ・幅広い世代を対象とした事業の展開

目標管理：年度ごとに各目標値の達成度を集計し、検証するとともに改善行動を積み上げることで2022年度目標の達成を目指す。

資料：指定管理者としての数値目標

施設名	使用料収入 (KGI 値)		備考
	現状値(2017年度)	2022年度	
コミュニティセンター	193,020,780円	199,505,000円	駐車場及び食堂を除く
松山市民会館	91,349,600円	94,375,000円	
松山中央公園	101,459,961円	131,400,000円	売店及び広告料を除く
北条スポーツセンター	15,269,120円	17,730,000円	コインロッカーを除く
野外活動センター	46,889,390円	35,080,000円	豪雨災害により一部休止中
埋蔵文化財センター	298,750円	377,000円	